

令和3年6月2日 朝会

校長の話 「大切な自分の体」

校長 上村哲也

文部科学省は、発達の段階に応じた「生命（いのち）の安全教育」※ の実施を求めています。
第一小学校では6月を強化月間と位置づけ、すべての学級で授業を行います。そのきっかけづくりとして話しました。

「あなたにとって、一番大切なものは何」と問われたら、みなさんは何と答えるでしょうか。ちょっと時間をあげますから、考えてみてください。（30秒待ちます）



さて、それでは、今思い浮かべた答えのあるところを指さしてみてください。

たぶん、自分のどこかを指さしている人がたくさんいるだろうと思います。

先生方、自分のどこかを指さしている人に、その答えとそれを選んだ訳を聞いてみてください。

（2分間時間をとって）

きっと、自分の体に関係することを思い浮かべている人が一番多かっただろうと思います。

これから、第一小学校では「大切な自分の体」について、すべての学年・クラスで学習します。そして、6月を、「自分や友だち、お互いの体を大切にしようとする気持ちを高めあう『生命の安全教育』強化月間」とします。

大切な体というと、たぶん、けがをしない・病気にならないなどの健康についてのことと思うでしょう。でも、『生命の安全教育』で学習する内容はちょっと違います。

そこで、もう一つ質問します。「大切な自分の体の中で、ほかの人に見せたくないとか、秘密にしておきたいところはどこですか。」

どんなところが思い浮かんだでしょうか。これから学習することは、自分だけの大切なところはどこか、それをどのように守り、友だちと楽しくかかわっていくのかという学習です。それぞれの学級で学び合い、お互いの体を大切にする人になってほしいと思います。

「生命の安全教育」について ※

（文部科学省HP資料より抜粋）

性犯罪・性暴力の根絶に向けて、誰もが、加害者にも、被害者にも、傍観者にもならないよう、令和2年度から4年度までの3年間を、性犯罪・性暴力対策の「集中強化期間」として、教育・啓発の強化等の実効性ある取組を速やかに進めていきます。この方針を踏まえ、子供たちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないよう、全国の学校において「生命（いのち）の安全教育」を推進することになりました。

○ 発達の段階に応じた、「生命（いのち）を大切にする」「加害者にならない」「被害者にならない」

「傍観者にならない」ための教育を実施します。

・○具体的には、生命の尊さを学び、性暴力の根底にある誤った認識や行動、また、性暴力が及ぼす影響などを正しく理解した上で、生命を大切にする考えや、自分や相手、一人一人を尊重する態度等を、発達段階に応じて身に付けることを目指すものです。